

平成21年度

総務教育常任委員会会議録

平成21年5月27日

福島町議会

会議録の作成にあたっては、誤りのないよう留意
しておりますが、時間の関係上原稿校正は初校しか
できなく、誤字、脱字がありますことを深くお詫び
申し上げます。

まことに恐れ入りますが、ご了承のうえご判読い
ただきたくお願いいたします。

福島町議会議長 溝 部 幸 基

平成21年度

総務教育常任委員会

平成21年5月27日（水曜日）

◎調査事件

- (1)調査事件2 その他所管に関する事項について
(地域活性化・経済対策臨時交付金事業)

◎出席委員（6名）

委員長	平野隆雄	副委員長	滝川明子
委員	佐藤卓也	委員	加藤雅行
委員	藤山大	委員	溝部幸基

◎欠席委員（0名）

◎委員外議員（0名）

◎出席説明員

・調査事件

副町長	竹下泰弘	総務課長	川岸勤
財務課長	花田春夫	総務企画グループ参事	出羽正機
町民課長	鳴海清春	福祉住民グループ参事	沢田勝男
産業課長	三鹿菊夫	農林グループ参事	工藤昭一
建設課長	横内俊悦	総務企画グループ総括主査	西田啓晃
教育長	丁子谷雅男	教育次長	土門修一

◎職務のため出席した議会事務局職員

議会事務局長	石堂一志	議会グループ総括主査	前田勝広
議会グループ主事	澤田元気	議会グループ書記	鳴海千草

(開会 13時38分)

○**委員長(平野隆雄)** 定刻になりましたので、ただいまから、総務教育常任委員会を開会いたします。

直ちに、本日の会議を開きます。

本日の調査事件は、皆様のお手元に配付のとおりでございますので、ご了承願います。

案件の調査に入る前に、申し出により、竹下副町長のあいさつを行います。

竹下副町長。

○**副町長(竹下泰弘)** 何か時間の打ち合わせがしっかりしておらず申し訳ございません。委員の皆さんにおかれましては大変ご多忙中の中ご出席いただきましてありがとうございます。本日の案件につきましては、我が団体においては戦後最悪の経済状況のなか国として国民生活、地域経済を守るため地域活性化として、平成21年度のご覧のとおり衆議院につきましては、5月13日に可決され参議員で審議中でございますが色々と議論があるかと思えますけれども最後の30日規定より6月12日に成立され法案についても60日規定によって7月12日に可決される見通しでございます。法案の成立の予算の速やかな執行にむき出たという事で北海道から正式に6月2日までに実施計画書の提出について指示がございました。当町といたしましてこれらについては事前に情報を得ておりましたのであらかじめ5月の管理職会議におきまして5月20日までに各原案についての提出を求めまして内部協議をし、昨日5月26日に臨時管理職会議において交付金事業としてのとりまとめをいたしました。時間のない中での委員会議員に提出になりますがこの内容につきましては担当のものに説明させますのでよろしくお願いをいたします。

○**委員長(平野隆雄)** 竹下副町長のあいさつが終わりました。

これより、調査事件に入りますが、最初に調査の方法について説明をいたします。

まず、調査資料に基づき、説明をいただき、次

に、現状の把握を主体として質疑を行います。

調査事件の説明及び質疑が終了後、説明員には退席をいただき、順次、問題点やその対応策などを委員間で意見交換や討議をしていただきます。

その後、最終的な委員会意見のまとめをし、議長に提出することとなります。

以上、調査の方法を説明しましたが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」という声あり)

○**委員長(平野隆雄)** ご異議なしと認め、そのように進めてまいります。

それでは調査事件2に入りますが、あらかじめ調査内容について、ご説明いたします。

本件は、すでに皆様にご案内をしております、地域活性化・経済対策臨時交付金事業であります。

政府は、平成21年4月10日に閣議決定された経済危機対策に基づき会計予算を国会に提出し、現在審議中となっているところであります。

内容としましては、地球温暖化対策や少子高齢化社会への対応、安全・安心に実現など将来に向けた地域実情に応じるきめ細かな事業の実施とのことであります。

これらの速やかな事業実施を行うため、補正予算成立までに、実施計画の事前提出が6月2日までとなっていることから、町では昨日とりまとめを行い、本日の調査となったものであります。

委員の皆様には、5月7日付けで、国の交付金事業の概要と事業の事例を送付しておりますので、それらも調査の参考にしていただきたいと思います。

それでは、調査事件2「地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業について」を議題といたします。

内容の説明を求めます。

出羽企画グループ参事。

○**企画グループ参事(出羽正機)** 1ページをご覧いただきたいと思います。今委員長から事業の目的、交付対象、交付対象事業等色々と報告していただきました。実施期間については、21年4月から22年3月までの期間という事での事業日

程でございます。交付金限度額は、色々と社会情勢福島町の地域情勢等を踏まえた計算で1億9,086万2,000円の範囲内の交付金となっております。計画については、補正予算成立後速やかに1カ月制度の想定と今情報が入っております。実施計画の事前相談なんですけど道で事業量の把握をしたいという事で6月2日までの期限という事での提出期限になっております。これにつきましては、枠は要するに変えられませんが事業内容の変更等には対応出来る内容で今現在の情報の把握をしております。

それでは2ページから事業の内容について説明させていただきます。

その前に6ページをご覧くださいなのですがこの事業の管理職会議での内容検討の部分なんですけどコメ印の網掛け部分は総合開発計画後期実施計画に記載される予定の計画事業という事で優先的なものを考えております。それからナンバーの欄にある丸を付けている項目は、地域活性化・経済危機対策実施計画に掲載予定の事業でございます。合計として各グループから47件、合計3億6,811万円の事業要求に対しまして、優先されるべき事業という事で33件、2億2,930万円の総額の予定をしております。

それではまた2ページをお願いします。

丸印のみ説明させていただきます。①財務グループなんですけど新公会計制度システム開発委託事業780万円。平成22年度決算に基づく新公会計制度による財務4表の開示を求められているため、既存財務会計システムに対応した新公会計システムの開発委託事業でございます。

②住民グループ住宅用火災警報器設置事業230万円。70歳以上の単身世帯及び夫婦等2人世帯で、町民税非課税世帯に対し、火災警報器を設置し、火災から生命及び財産を守る福祉の向上を図る事業でございます。

④企画グループですが業務用パソコン購入事業540万円。耐用年数の経過及びサポートの終了したOS搭載のパソコンを更新し、事務の効率化を図るものであります。

5町内LANサーバー更新事業1,310万円。耐用年数に経過した庁内LANサーバーを更新し、クライアント管理ソフトを導入することにより情報システム・セキュリティの信頼性向上を図るものであります。

6なんですけど公共施設地上デジタル放送対応事業510万円。役場庁舎等公共施設のデジタル化を推進することにより、地域のデジタル化の普及促進を図るものであります。

7税務グループ地籍管理システム導入委託事業440万円。地番図等デジタル化による2万筆の登録による委託事業でございます。

8につきましては、要求が2つありましたが、採択優先として総務グループの方からですけど町有建物解体事業という事で390万円。宮歌及び岩部教員住宅解体事業という事です。

10福祉グループ地域福祉計画策定事業310万円。地域福祉計画策定事業業務委託でございます。

11生涯学習グループ福祉センター改修事業東側窓枠及び壁面防水工事でございます。

15福島消防署消防庁舎改修事業830万円。庁舎が30年以上経過し、数箇所が老朽化しているため改修工事であります。

18学校教育グループ教育用テレビデジタル化事業460万円。全教室にデジタルテレビを設置するものであります。

19校内LAN整備事業1,160万円。全教室でコンピュータが使える環境を整備するものであります。

20教育用・校務用コンピュータ整備事業1,890万円。福島小、中、吉岡中の教育用パソコンの更新でございます。

21建設グループ橋梁長寿命化修繕計画等策定事業650万円。橋梁長寿命化のための町内橋梁の点検及び事業計画の策定であります。

22企画グループとして行政評価導入事業540万円。行政活動を点検し改善を図るため、まちづくり基本条例位置付けされている行政評価を着実に実行するものであります。

4 ページをお願いします。

2 3 塩釜地区船揚場改修工事 1 6 0 万円。塩釜
栗田宅前船揚場は、干潮時に船が斜路先端部分に
当り、船の上下架に支障があるもので、斜路先端
止壁部を前出しするものであります。

2 4 福祉グループ災害時要援護者避難支援プラ
ン支援事業 1 5 0 万円です。災害時要援護者避難
支援プラン策定業務委託及び災害時避難支援計画
でございます。

2 6 デイサービス用福祉車両購入事業 9 0 0 万
円です。リフト付きの 2 6 人乗りのロングバスを
購入計画であります。

2 7 高齢者にやさしいバス購入事業 8 5 0 万円。
2 6 人乗りのバスロングボデーを購入予定でござ
います。

2 8 A E D 購入事業 4 0 0 万円。各公共施設等
に A E D を設置する。1 0 台を計画しております。

3 1 農林グループ町有林間伐材活用事業 8 0 0
万円。町有林を間伐することにより木材を活用し、
木製品を作成し、青函トンネル記念館前駐車場の
一部に設置して朝市等の活用を図っていくもので
あります。

3 2 あづまーるの外壁塗装等事業という事で 1 7
0 万円。あづまーるの外壁塗装工事及び屋根の雪
割り除去等に係る工事でございます。

3 4 議会グループ議会中継映像配信システム整
備事業 5 5 0 万円。議会本会議等のインターネッ
ト中継(ライブ中継と録画放送)を行い、広く住民
等に対して情報共有・提供の充実を図るものであ
ります。

3 6 学校トイレ洋式化事業 9 0 0 万円。日常生
活の洋式化に伴う生徒用トイレ改修整備事業でござ
います。

3 9 福島小中グラウンドトイレ建替え事業 1, 1
5 0 万円。現在 2 箇所にあるトイレを 1 箇所に集
約して建替えし、水のみ場として合わせて整備す
る事業でございます。解体も含めております。

4 0 建設グループ町道丸山団地 1 号線整備工事
1, 1 7 0 万円。これは町道の整備で排水工事と舗
装工事です。

4 1 町道浜町 1 号線整備工事 7 5 0 万円。排水
工と舗装工でございます。

4 2 町道三岳 1 3 号線整備工事 4 1 0 万円。舗
装工と縁石工でございます。

4 3 町道塩釜 1 号線整備工事 3 5 0 万円。舗装
工でございます。

6 ページをお願いします。

4 4 町道氏子沢線整備工事 1 3 0 万円。舗装工
でございます。

4 5 町道本町大通り線整備工事 1, 5 6 0 万円。
排水工と舗装工を計画しております。

4 6 町道坊主沢線整備工事 5 5 0 万円。排水工
と舗装工でございます。

4 7 町道館崎 2 号整備工事 1, 6 9 0 万円。舗装
工でございます。

結果として丸印を付けたのは 3 3 件 2 億 2, 9
3 0 万円でございます。

よろしくご審議方お願いしたいと思います。

○**委員長(平野隆雄)** 暫時休憩いたします。

(休憩 1 3 時 5 4 分)

(再開 1 3 時 5 4 分)

○**委員長(平野隆雄)** 休憩前に引き続き、会議
を再開いたします。

内容の説明が終わりましたので質疑を行います。
佐藤委員。

○**委員(佐藤卓也)** 5 ページの 3 9 番について
お伺いしたいと思います。

福島小学校、中学校のグラウンドのトイレを建替
えるという事で大変嬉しく思っております。以前
僕も質問した件があるんですけども新しい簡易
水洗トイレを設置するという事で、私が質問した
時にバイオトイレはどうかという事を質問した件
があるんですけどもそのバイオトイレというの
が駄目なのかどうなのか。また、検討した段階に
おいてもし駄目だというのであればその理由等を
教えていただければなと思います。

○**委員長(平野隆雄)** 土門教育次長。

○**教育次長(土門修一)** 福島小中のグラウンドト

イレの部分につきましては、建ててから27年ほど経過する部分でございます。実際にその建てた地震等で壁面のひび割れですとかそれから建物本体が傾きが出てると。それからシャッター等もいったん閉めるとなかなか開ける事が厳しいくらい錆びている部分があるといった事から、学校の方の要望もありまして2棟を解体して今回1棟をグラウンドの両校の真ん中付近に建替えしようとする部分でございます。議員のおっしゃるバイオトイレの部分の検討につきましては、バイオトイレに関する検討はする事なくより、生徒が使いやすいような形での簡易水洗での検討だけで今回載せております。もし、バイオトイレ等も検討する中でより学校等においても使いやすい物であれば、その辺の部分も自分の中ではバイオトイレのその部分の検討する事を全く念頭にないまま今回提出しているという事でありませぬ。

○委員長（平野隆雄） 竹下副町長。

○副町長（竹下泰弘） 今土門次長がバイオにおいては検討する事なくというお話ですけれども、今佐藤委員がおっしゃったように前に提案された段階で屋外にです、表に建てるというものについてのバイオの在り方はどうかという人は内部で検討しております。冬期間等についてもバクテリアだとか色んな部分のつまり条件それについては、かなり厳しいものがあるという事で一応結論は出してあります。

この部分については、土門次長が教育委員会にいなかったときでありまして内部では検討してそういう一応の結論はだしておりますので、その点ご理解いただければと思います。ただ、詳細で例えば例示をとってどういう形の中でどうなのかという詳細の部分については、検討してありませんけれども大枠の中で聞いて一応の判断はしているつもりであります。

○委員長（平野隆雄） 佐藤委員。

○委員（佐藤卓也） 1つだけ学校にも一度声だけはかけていただければなと思いました。

○委員長（平野隆雄） ほかに。

藤山委員

○委員（藤山大） 28番AED購入事業なんですけれども10台購入予定なんですけど書いてある事業内容では、9箇所しか載ってません。これに例えばですけどトンネル記念館AED10箇所というのはこれについてなんですけれどもこれから出来るであろう海水浴場等にも設置予定はあるのかちょっとお聞きしたいです。

○委員長（平野隆雄） 三鹿産業課長。

○産業課長（三鹿菊夫） ご質問お答えします。海水浴場についてはご承知のとおり今建設している訳でございます。先だって土木事業所との協議の中でもセンターハウス等が言いましたらそういうのも必要だろうという話の中で整理してございますのでまずはセンターハウス出来てからそれは付ける方向で考えて行きたいと思っております。

○委員長（平野隆雄） ほかに。

滝川委員

○委員（滝川明子） 福祉センター改修事業でございますが福祉センターは大変高齢者学級等の高齢者が利用する機会の多い所なんです、高齢者向けの建物としては、大変螺旋階段等あそこだったら行けないわという高齢者がいるのも大変です。少子高齢化に向けて福祉センターの改修ばかりです。エレベーター設置は検討なさりませんでしたでしょうか。

それから4ページのこれは福祉関係の災害時要援護者避難支援事業載っているんですけれども災害に熟したと言われる方たちにかす支援事業内容だとは思いますが災害の対策としては何と言っても情報をいち早く知らせる事が大事と考えるんです。その意味では、こういった交付金を個別の受信機防災無線行政無線を設置するという事での検討は。

○委員長（平野隆雄） 暫時休憩いたします。

(休憩 14時03分)

(再開 14時04分)

○委員長（平野隆雄） 休憩前に引き続き、会議

を再開いたします。

○委員（滝川明子） 378世帯が70歳以上の福祉灯油等に対象という世帯なんですけど、ここに今いくらするか解かりませんが、いつの時点かできいた1個5万円を計算しますと2,000万弱なるんですよ。これこそ災害の弱者対策には、何よりも優先してこういう事が大事ではないでしょうか。検討したかどうかお聞きしたいと思います。

それから教育分野なんですけれども載っていませんが給食センター、これは総合開発計画で具体的に今年は、マスタープラン等の内容にあるのでしょうか。教育委員会まで行かないのでしょうか。そういった事になっていると思うのですけれども優先する事業の内容に入るのではないのでしょうか。この交付金を活かす事の中に給食センターは入れなかったのでしょうか。この交付金事業が一時的なものでなくて町の活性化しっかりとうしろに亘っても活かせるだろうという風に使う道としては人作りにどれだけ活かされるか、繋がるかという事の中に給食センターの給食事業、食育の中心的な役割を果たす人材例えば管理栄養士さんの作業や道職員さんでずっとまわってらっしゃるかとか道からまわされる方を採用しなければならぬシステムなのかどうか解かりませんが地元の方が定着してしっかりと地元の食育学校給食に携わってくれるような方に使う、活かすといったような事は、検討には入らなかったのでしょうか。希望も含めて述べましたけどもおきかせ頂きたいと思います。

○委員長（平野隆雄） 鳴海町民課長。

○町民課長（鳴海清春） 1点目の災害要援護者避難支援プランの関係でございますけども新聞報道でご存知かと思っておりますけども今般福島町が厚生省の地域福祉推進市町村指定の決定を受けました。その中でこれから予算計上お願いする事になるかと思っておりますけども、安心生活創造事業という形で高齢者の方の見守り事業展開する事になっております。その中の1つの要素として災害時の避難というのも大事な要素となって来ます。それと合わ

せた中で今般の災害時の要援護者の支援プランを作るという事で本来対象となります高齢者、障害者あと妊婦。そういった方のデータ把握を地域と共に共有するとそういったものを兼ねて当初から平常時から計画を立てて避難に備えるというためのプランを予定してございます。

○委員長（平野隆雄） 川岸総務課長。

○総務課長（川岸勤） 災害に備えての弱者支援という事で今回の予算というか交付金事業の中で個別受信機の設置を検討したかという事のご質問でございますけども、委員さんご存知のとおりこの防災行政無線もデジタル化の波という事で今後今使われている電波が改正される予定という事の中で位置にあるのが今の防災行政うちの無線という風になってきます。そういう中で将来的にそういうデジタル化なるという状況の中で今ある本体個別受信機含めて現状のままでとりあえず使用してあまりお金をかけないでデジタル化になった時点で今後の方法を見出して行くというのが現状での防災行政無線の位置付けという風にしておりますのでご了承願います。

○委員長（平野隆雄） 丁子谷教育長。

○教育長（丁子谷雅男） 2点ほどございますけれども福祉センターのエレベーターの設置の件でございます。この件につきましては今滝川委員からもお話あったように高齢者出来れば螺旋階段の部分使わないで対応出来ないかという部分も検討してる部分でございますけれども、なかなか全体の躯体考えますと今回もこの度の項目に福祉センターの部分色々項目載せておまして、その中から今一番施設の中で待っている部分の調理場の部分での雨漏り含めて天井が大体むって来る部分でございますのでそれをまず改修したいと。それと基本的に全体の躯体の部分考えますと、体力度の部分もあるのですが相当の年数経っておりますなかなかエレベーターを抱かせる部分の困難性も指摘されております。実際の今の状況の中ではまず全体の躯体の部分外回りも含めてその部分を今年数で行きますと結構な年数経っておりますのでその部分をまず通常使える部分に不便かけない状況でま

ず管理をして行きたいというのが現課の考え方でございまして今回もその部分は色々な方策の部分ではエレベーターの話もあったんですがその部分までは入らない形で表周りの整理の部分で今回の分は挙げているという事でございます。

それから給食センターの話ありましたけれどもこの部分は前にもお話した経過があると思っておりますが今年度ある程度中身を整理して来年度22年度に実施設計を組み来年度建設を行いたいという事でございます。その中では、今の給食センターを建設する部分なりその前段の実施設計を組む部分今年度の中に入れる形は考えておりません。

ただ、今滝川委員からもお話あったように確かに食育も含めて対応は十分必要だという認識は持っております。それで管理栄養士の話ございましたけれども基本的に現在居ります部分は、今年度から位置付けも変わりました。今までは給食センターに居るのは栄養士さんという形だったんですが、今度は教諭という形になりました。ですから栄養教諭という形で地域に例えば自治体だったら自治体に、とりあえず今は福島小学校に机ある形になるのですがそこから給食センターに向かうと当然その中では町の方にも管理栄養士居りますのでその部分と連携取り合いながら学校の部分の食育も含めて指導徹底して行くという形で今年度からまた取り組みも変わっておりますのでその点ご認識お願いしたいという風に思います。

○委員長（平野隆雄） ほかに。

溝部委員。

○委員（溝部幸基） 最初に国の景気対策については昨年の秋に初めて出て来て、その際もなかなか日程がなくて意見集約が難しいと。特にその対議会の部分で議会で十分審議する間がなくて道なり集約するという事の中対応したと。今回はそういう点から見ると若干時間的な余裕があってそして議会の方側も意見集約の部分で若干その時間取れるのかなという風に思ったら急に今度は支庁の方から6月2日までという話になって今日の総務常任委員会も急遽日程調整をしてやったという事ですね。本来は29日に経済がやってそして総

務の部分については、定例会等の中で対応した上で時間を組んでと。特に昨年の事例があるので議会の方は、今月の初めに内閣府の情報等もあって昨年の事例等の部分のホームページに出てましたのでそれらも含めて各議員に配布をして、そしてその中で内容検討をしてそれぞれの議員の考え方を出来るだけ意見反映させるようにというつもりでいたものが、全くそういう時間なく急遽今日がという事になったんでその辺の情報収集含めて大概はこのようになって来たんで今までもこういう急な補助とか交付金の部分についてこういうケースが多いという事を少し反省をしなきゃいけないのかなという気するんですね。もちろん多分町側の方にも早くから来てたものを議会に何も言わなかったという事ではないという事は十分承知しているんで、その辺は致し方ない分もあるんですけどもきちっと議論をするという事で特にこの4月新しい年度から両基本条例がスタートした中でお互いにその辺はきちっとして行きましょうという事の話なんです。そこがやはり私は、ちょっと片手落ちになってどうなのかなという気がするんですね。その部分で1つこれは対議会の部分での要望も含めて今後また同じようなケースがないように出来るだけ情報交換をしながら早い段階、早い段階に対応して行くという事調整をお互いにして行かなきゃいけないという事だけ指摘しておきたいという風に思います。それで昨年の秋から含めて国の経済対策と色んなもの、今回は1億9,000万を超える額の対応でほとんど100パーセントの対応と。自己負担を含めて今回は2億3,000万ぐらいのものをという事なんです。特に前にも話をしたのですが計画的にそれぞれの原課で常にかつこういうケースがあるだという事の中で現況を調べて将来展望してそういうものを逐次状況を把握していなければこういうケースはなかなか大変だという風に思うのですね。この話が出て来てそれから調べてっていう事であるとこれはなかなか大変なんだなという風にこう思うのです。それで例えば道路のケースも前回もありましたし、今回も出て来ると。多分そんな事はないんだという風に

思うのですけども町道全体の現況というものを十分把握した中で、そういうものが順次こういうケースが来たらそういうものの順番に対応していくという事の状態になっているのかどうか。それは、各々の原課それぞれにそういう体制にいないといけないんだという風に思うのですね。もちろん開発計画あってそこがメインになって出て来るんだと思うのですが普通考えるとそれが順次前倒しして来れば良いという事なんですけども前回もそうなんですけど、今回もまた、そうではなくてそれ以外のものも出てくる。多分それは、予算含めて補助の付かないものこれ以外のものである程度条件のいいものであれそっちを優先するとかそういうやり繰りはあるにしても全体のものがそういうものが出て来てその中から今言ったように財源の調整を含めた取捨選択をして行くという段階を経て行かなきゃいけないんだという風に思うのですがそういった意味で十分その辺が吟味され原課それぞれの考え方が集約されて行く。もう1つは、これも常に言ってるのですが原課それぞれが附属といいますか関連の産業団体を含めて関連の団体等の意見の集約を十二分にしていこうという形になっているという風なぐらい日程ここまで至る20日に集約をしたという事なんですけどもそこまでに至る分の中でやって来ているのかどうかという部分についてまず最初にお伺いしたいと思います。

○**委員長（平野隆雄）** 竹下副町長。

○**副町長（竹下泰弘）** 溝部議員のおっしゃるのは私共ですね、今回の対応についても弁解をする訳でもございません。確かにおっしゃるとおりだと思います。私共今回については事前に溝部議長のお話して議会にお願いして少し揉んでもらうという話をしていたとは思いますが、今回は、時間のない中対応となった事をお詫びしたいと思います。今後情報収集いち早くとらえながら対応して行きたいなと思います。それから出した資料の分でございますけども前の時にも私の方から関係課の管理職にお願いしてありまして、同じようなパターンがこれから来るだろうとですから各原課で事業をきちんと把握して出してくれという話

をしてございます。これ47本出ておりますけれども全く計画するにしても全然今の段階で数字も何もつかまえないようなものについては除外してあります。例えば、商工観光の横綱記念館のマルチ部分については、まだ議会との議論も終わってない。それからそのソフトもそういうのも一応お願いしたいという事でございますけれどもそれについては出しても予算上げるまでの資料がないと、それと議会の議論も終わってないという事で原課には申し、こちらの方からこれについては、計画としてあがっているけど中身は精査する。それから道につきましても今、8路線あがっておりますけども、建設課長の方にも前からあそこの所もあるだろうし、と言う事で現地回ってみなさいという事で、実は、15本くらい最初は相談来たんですけれども、今回については緊急というのあるものだけそれからメンテのかかるものも国の交付金だとは言え無駄遣いしてはいけないので事業効果の上がるものからしなさいと、事で絞らせてもらいました。そういう形の中で丸の付いていない部分も皆さんと一緒に検討・協議ございまして、これからまた、色んな部分で、あがって来るとすれば47件ありますけれども挙がって来たものの優先的に審議をしてこれから対応して行きたいなと思います。今申し上げたような形の中で5月1日の管理職会議で私の方から20日まで出しなさいという事で20日間の猶予を与えまして出てきた分がこういう形でございますので、これからはおっしゃられるとおりの事業検討については十分な時間を取りながらそしてすぐ対応するんじゃないかと各原課において原課でなければならぬものが何かという事を常に手法としてそのような形で進めてまいりたいと思います。

○**委員長（平野隆雄）** 溝部委員。

○**委員（溝部幸基）** 今基本条例がスタートした中で決算に合わせて行政評価と事務事業の評価という事になっている訳ですよ。そういう部分の中では特に事業やる場合の説明資料の部分の対応という事も重視してますよね。そういうものを踏まえた上でやる事が事務事業の行政評価も含め

た対応に繋がって行くだという話をよくして来ているのですが、今みたいな日程でやると本来であればこの部分でそういうものが示されてその部分にとって議論をするというのが正しい姿だと思うのです。何もそういういとまがない中で道なり国のスケジュールの合わせ、もちろん道も勝手にやってる訳でないですし、全道のものを集約とするとすればそれなりに日程もかかる事も理解しない訳ではないのですが、どうしても後手後手になってしまうという傾向にあるんでないかなという風に思うんですね。それで今回も47項目、これで多分原課で検討した事務事業の内容全てという事ではないんだという風に思うのです。だから今日今回の部分で丸がついてないような部分が本来原課それぞれでいっぱいあるんだと思う。そういう把握をまず全体像をそれぞれが掴んでそれを町全体で多分その企画の部分での集約になるのでそれを捉えて置くとその中から開発計画に搭載されて行く物あるいは、こういう経済対策とか国の交付金等補助の動向を見ながら対応して行くという調整をして行くという事なんだという風に思うのですよ。どうも見ていると我々に出てくる資料というのは、この部分だけより出て来ない訳ですから、なんか対処療法みたいな感じに見えてしょうがない訳ですよ。どこまでやるのか。それが開発計画に載っているものとか全く載らない物が突然出て来たりという事になるんで、そういう現状の把握と課題を含めた年間それぞれのものとそれをトータルでおさえておくという事を今後はして行かなきゃいけないんでないかなという風に思うんです。それで今言ったような形の資料も含めたものが今後どの段階で示されるのか。これを6月2日にいわゆるヒアリングという事なんでしょ。ヒアリングをするとそれで確定した後さっきの副町長の話では6月13日ですか自然成立をするという事の中から本格的に動く訳ですからその後のスケジュールと言いますかそういうものは見えているのかどうなのか今の段階で臨時の議会の召集という事になって来るんだという風に思うのですが、そう言った部分の情報収集と言いますか支庁

から連絡みたいなのあるのかどうなのかちょっとその

○委員長(平野隆雄) 竹下副町長。

○副町長(竹下泰弘) 先ほどの溝部委員1点答弁漏れがありましたので、各種団体との調整といえますか。先ほども申しあげましたように私の方には、原課の課長とは関連ある団体との協議はすべからきちっとしませんという指示を出しておまして、数字もあげてきた段階での確認では今協議はしてるという事でございます。

○委員長(平野隆雄) 出羽企画グループ参事。

○企画グループ参事(出羽正機) 先ほど溝部委員からのご指摘があるように、大変スケジュール私たちがちょっとビックリしまして5月21日に6月2日までのとりまとめをなさいたいという内容でございました。ですから急遽慌てたような状態でこのような協議をしながら整理をして来たところでございます。今後の対策なんですけど今回の委員会を踏まえて内容等再度精査して6月定例会後の議会に補正予算計上して行ければと思っております。今のところ情報は、6月2日までの提出という情報だけであとのものはまだ細い部分は入って来ていないです。ですから我々の方もちょっと手のうち用がないような状況なんですけど今のところそういう提出に向けて準備を取りはからっているという状況でございます

○委員長(平野隆雄) 溝部委員。

○委員(溝部幸基) 今回の国の景気対策そのものは色んな課題を踏まえてこう来ている訳なんですけど私は今の福島の現況考えた場合に優先という事をでもないんですけども基本的に重点を置いてやらなきゃいけない政策というものがあ程度絞られて来るんでないかなという気がするんです。色んな部分の要素が絡んで来る訳なんですけども先ほども誰か質問してたと思うのですが雇用の場の創出というのが1つの大きなテーマだという風に思うんです。もちろんそういうものから附随して来る少子高齢化対策とか色んな分野に行き渡るのでありますがあえてここまで至る部分の一番大事なこれから重点をおいて行かなきゃいけない部分もちろん雇用

の創出も地盤の水産業を中心としたこういう機会の拡大とか色々な工夫もあるでしょうし、色々な方法あると思うのですがそういう方向の中に事業展開を全体をシフトさせて行くという考え方が一つ私は、重要な事だという風に思うのですが前回もそうなんですけどあまりそういった部分では、大きくそちらにシフトするという感じの状態が感じないんです。ですからそこで全体の今回の部分の中で開発計画の部分とそうでない部分になってる訳なんですけど開発計画の部分の件数が何件で金額がどのくらいなのか。その全体の中でその内今回対策で組み込んだのが何件でいくらで開発計画以外の物で出て来た物が何件でそうして丸印のついてない物は何件で額がいくらになるかというのは数値でももちろん捉えているという風にこの計算すれば解かるのですけどね。ちょっと教えて貰えますか。

○委員長（平野隆雄） 暫時休憩いたします。

(休憩 14時30分)

(再開 14時42分)

○委員長（平野隆雄） 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

出羽企画グループ参事。

○企画グループ参事（出羽正機） 今回の47件の中から33件優先される事業として選定した部分については国・道の補助金、それから過疎債等の財源の確保されているものについては、総開発計画の方に繰延べいくとして一般財源の部分の物を優先して今回は計画している状況にあります。それで総開発計画に掲載予定とされている部分この47件のうち21件9,750万。それからそれ以外のものでは、26件1億3,180万円という集計でございます。

○委員長（平野隆雄） 暫時休憩いたします。

(休憩 14時43分)

(再開 14時43分)

○委員長（平野隆雄） 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

出羽企画グループ参事。

○企画グループ参事（出羽正機） 失礼しました。総合開発計画掲載予定の部分は、21件で1億8,110万円。それ以外のもので26件で1億8,701万円でございます。先に述べた数字は、33件の分でございます。

○委員長（平野隆雄） 暫時休憩いたします。

(休憩 14時44分)

(再開 14時44分)

○委員長（平野隆雄） 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

出羽企画グループ参事。

○企画グループ参事（出羽正機） 33件の内訳ですけど総合開発計画掲載予定部分が14件で9,750万円。それから以外ものでは19件で1億3,180万円でございます。大変失礼しました。

○委員長（平野隆雄） 溝部委員。

○委員（溝部幸基） それで良く分かりました。それで第4次の開発計画その後の後期の計画は、今年度中にそれを作る訳なんですけども町の方の準備としては3月からまとめて、ある程度まとめたものの中からそれを整理したという事だという風に思うんです。それでその予定から見るとこれはもちろん審議会にかけてその後具体的に決まて行く訳なんですけども当然今の財政状況を踏まえて、そのうえで26年までの5年間という事の話の中で予定したものから今回の部分で9,760万が減るという事になります。ですからそういった絶対今町の方で予定している全体像が見えないので何とも言えないです。そういった部分について一つは、今回丸が付いてない部分を見てみると掲載してない部分、細かい部分入れなくて良いのかその辺良く分かりませんが、その対応がどうするのが一つと、もう一つがこの財源が今度は一般財源が追々出てくる訳ですからその部分で先ほど言った重点的な部分の対応という事で

の想定をしているのかどうなのか。その辺の基本的な考え方みたいなのを示していただきたい。もちろん今町長が公約をし、その年度毎に執行方針で示しながら、あるいは開発計画で調整をしながら来ている訳ですから基本的な考え方としては、変わらないにしても状況がどういふ状況、今までやって来た政策そのものについて検証し、反省をして行かないとこの状況は変わって行かないという事なんだという風に思うんです。ですからそういう部分ではそういう方向性の中で重点的にやるという検討と言いますか考え方と言いますか、そういう方向性見たいな事についての考え方みたいな今の段階でどうなんでしょう。当然直ぐ開発計画の作業にもう入ってる訳ですからそういった状況の中での経済対策を入れて来た中での基本的な考え方みたいなものは当り前にあって良いんだという風に思う。その辺の基本的な考え方についてお伺いしたいと思います。

○**委員長（平野隆雄）** 出羽企画グループ参事。

○**企画グループ参事（出羽正機）** 確かに現在の作業状況でございますがとりまとめは、今行ってる最中で目標とするとりまとめ時期は、6月末という事で今各原価の方にこのようなもので指示しております。それで重点項目という事で3項目あげていて雇用支える産業の活性化と掘り起し、それから健康で快適に暮らせる環境の創出、情報の共有と町を支え育てる人づくりという重点項目を設けてそれに沿った形で事業計画していただけるように今指示している最中でございます。なかなかこの答弁についてちょっと難しい部分もあるので私の方からは、この程度でご了解願いたいと思います。

○**委員長（平野隆雄）** 花田財務課長。

○**財務課長（花田春夫）** 今溝部委員さんの方からの部分については、26年までの財政推計も含めたご質問の中身かという風に思います。前段で今回は交付金事業で1億9,000万ほど組来るという事で今回の事業展開になりますけども、前段で総合開発計画の後期計画の部分を事業集約という事で3月中には、一応見込みましてそれに伴

った並行して財政推計を立ててございます。今回交付金事業で14件9,750万という数字が出ましたけども、それも含めて財政推計の中には、実は取り込んでございましてご承知のとおりその分が当然、この事業でやる訳ですから財源的には、9,700万ほど余裕は出るだろうという事は、確かにそうでございます。取り分け先ほど来、質問ありました雇用対策の部分出てました。これからの展開になるかと思えますけども、先だつての定例会でもお話したと思うのですが今年の普通交付税の算式の中に基金対応になりますけども雇用対策という部分で去年の推計から行くと4,000万ほど見込まれるという事ですので、その中で雇用対策については今後見えてくる部分があるかなと。加えて今回の9,750万の部分当然余裕が出る訳ですから、その中でも含みながら今の4,000万になろうとする金額が合わせて事業展開をおそらく図って行くものという風には思ってます。これについては、町長、副町長とも具体的にはまだ話しておりませんが多分そういった事業の展開がされるのかなという風に思いますので今のところはその部分だけの話での整理しかないかなと後今回ういた財源については、今後の事業の総合開発計画の中にも当然オンされる部分もあるかと思えますのでその辺は、それぞれの原課あるいは三役とも相談しながら財政推計含めて事業展開もして行きたいなという風に思ってますのでよろしく願います。

それと余分な事ですけども、20年度の基金の残高も今のところ8億3,500万ぐらい残して残ります。21年度では1億2,000万取り崩しの予定ですけども20年度の決算概算ですけども約6,000万近いものが繰り越されるだろうと、そうすればそういった財源もまた新たに発生しますのでそういったものも加味しながら今後の事業展開に当たりたいという風に思ってますのでよろしく願います。

○**委員長（平野隆雄）** 溝部委員。

○**委員（溝部幸基）** 最後しますけども色々政策はうって来ているし、議会も当然その一翼をなっ

て来てる訳ですから行政側だけの責任という事は言いませんし、同じように対応してきた私共もこの現状になって来ているという部分については大きく検証しななきゃいけないんだという風に思います。その部分では、今まで本腰を入れて来ないという事ではないんですが真剣にそういう対応をして行かなければ昨年12月に人口問題研究所で2035年の推計が2,322人という人口推計をしてる。それはもう今までの経過を見ると間違いなくそういう方向になって行くんだという風に思うのです。そこをいかに現状維持これを多く回復するというのは難しい状況の中でいかに維持をするかという事もまず念頭に置きながらして行かなきゃないとそういった部分での柱としては雇用の創出という部分を考えて行かなきゃないそれを受けての少子化対策や人材の育成やそういうものをもう一度的を絞って将来展望をしながら検討する良い機会でないかなと今では色々な要素があっかなか財政厳しくて削るって何とか維持しようという事に四苦八苦っていう状況だったとその先々の事までゆっくり考えるなんて事が出来ないような状況があったと。合併問題もあったでしょうし、色々な部分での問題があっかなか今に至って次の後期の計画に向けては、その辺を今は真剣に考えて対応して行かないとまた同じような形になりがち。私共もそうなんですけどもどうしても国の補助とか道の絡みも含めてそれを頼るといって体質は、依然として変わらない状況があるんだと思うのです。その中で自立して行くというのがなかなか育て行かないというのが、ここに背景に難しさがあるだなどこう思うのですがそういった状況も十分勘案しながら私はこの機会に真剣に考えていただきたい。もちろん議会も同じように考えて行かなきゃないという風に思ってます。それをお願いしておきたい。

それで最後に1つだけ自立プランの検討という事。この部分をこの4月からは、町づくり推進会議その部分を対応するという事ですよ。例えば今回のようなケースがあった場合に、それをどういう形でその辺とリンクされて行くのか。先ほ

どちょっと学校のグラウンドのトイレですか、という事で学校の方との繋がりみたいなのを聞いたけどもこれからしますみたいな話で、まだしてないのかというような感じも受けるんですけども最初の話をしました関係団体とか関係機関との調整みたいなものもなかなか上手く行っていないようなそこはやはり私は、基本条例の中で謳ってる一番大事な部分である住民・議会・行政が協働するとその今までのように参加をするという事から一歩進んで積極的に住民が入って行くというシステムにして、それで全く解からない部分でどんどんどんどんなんていう、ちょっと財政余裕が出て来たから何て言う話には私はならないんだという風に思いますのでそういった部分で最初に言いました関係団体含めて、町づくり推進会議の中でのこういうケースの出た場合の検討というのはしているのかどうなのか。これこそしてそういう判断をして行くという段階をこれは町長部局の諮問機関な訳ですけども、もちろんそういった部分では議会も当然住民の皆さんの意向を踏まえて話を聞いてと事になるんですけど最後にそこだけ確認をして。

○**委員長（平野隆雄）** 出羽企画グループ参事。

○**企画グループ参事（出羽正機）** 今年に入ってから4月に第1回目の委嘱状、辞令を含めて会議を開催したところであります。それで行政側としては、自立プランの継承していただく町づくり推進会議という事での位置付けで望んだのですが、委員が新しくなった事もありまして数字だけの確認ではなく将来の町づくりについての語れる部分も作っていただきたいという事でお話がありました。それで今後の検証して行きながら皆さんからの将来の福島町をどうして行かなければいけないかというご意見もいただきながら、133項目の中で色々検証しながら、そしてまた意見をいただきながらそれで予算の増減というか必要であれば要するに財源確保もしなければいけないし、必要でないというのであれば検討もして行かなければいけないという事で、今日会議を開いて、部会を開いてそのような内容での検討をして行くところでございます。協働して行くというシステム

作りについては、今回色々と議論する中で行政側からもそういう事での提案もして行きたいと思っております。

○委員長（平野隆雄） 溝部委員。

○委員（溝部幸基） その事をやったのは、今日今晚それをやるという事なのかな。

○委員長（平野隆雄） 出羽企画グループ参事。

○企画グループ参事（出羽正機） 自分の担当する部分での考え方でお話ししますが開発審議会という本来の目的のもの、要するに会がありますのでこの部分の話では直接出て行きません。あくまでもこれ別な機関での審議という事で考えておりますので各部会の会議の中で質問事項で求められた場合には、事業計画等色々出てくる部分もあるかもしてませんが資料としては提出は予定しておりません。

○委員長（平野隆雄） 暫時休憩いたします。

(休憩 15時01分)

(再開 15時04分)

○委員長（平野隆雄） 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

竹下副町長。

○副町長（竹下泰弘） 今色々ご意見頂きましたけど、この今出す緊急経済対策については、今日は町づくり推進会議が今日開催されますので、確かに総合開発計画の色々な部分との話でちょっと後になると思いますけども私の方に出羽参事と打ち合わせしまして内容だけ一応検討項目は別にしまして、内容だけについては、一応こういう形でとりまとめて実施して行きたいという事で、後日また、それらについての開発審議会がありますし、その事でそれについては、過去のものになってしまい申し訳ないんですけどもとりあえず今回こういう風にまとめて実施した成果ありますという話をしたいと思えます。

○委員長（平野隆雄） ほかに。

（「なし」という声あり）

○委員長（平野隆雄） 質疑なしと認め、質疑を

終わります。

説明員の方は退席願いたします。

どうもご苦勞様でした。

以上で、調査事件2の質疑を終わります。

暫時休憩いたします。

(休憩 15時09分)

(再開 15時40分)

○委員長（平野隆雄） 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

次に4の「定例会6月会議後の休会中の所管事務調査について」を議題といたします。

まず、各委員から調査事項を何点か提案していただきたいと思えます。

その後にそれぞれの実施について検討したいと思えます。

何かありませんか。

滝川委員

○委員（滝川明子） 入札制度について予定価格を廃止したところが上限つき一般競争入札を始めた等色々あります。先の定例会で99.15パーセントの落札率という事に大変課題を感じました。入札制度について調査したいという風に考えられます。

もう1件。これは教育問題で給食センターについて先ほども言ってましたけども今年中に内容を作っていくんですというお話でした。議会としても所管事務調査をしたらよろしいのではないかと考えます。

○委員長（平野隆雄） 暫時休憩いたします。

(休憩 15時42分)

(再開 15時47分)

○委員長（平野隆雄） 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

それでは定例会6月会議後の休会中の所管事務調査は、1. 入札制度について、2. 給食センターの現況と課題について、3. その他所管に関する

る事項とし、平成21年度定例会6会議に休会中の所管事務調査として申し出をしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」という声あり)

○**委員長(平野隆雄)** ご異議なしと認め、ただいまお諮りした内容で、平成21年度定例会6月会議の休会中の所管事務調査事件として申し出をすることに決定いたしました。

○**委員長(平野隆雄)** 暫時休憩いたします。

(休憩 15時49分)

(再開 16時09分)

○**委員長(平野隆雄)** 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

以上で、本日の案件の調査は終了いたしましたので、総務教育常任委員会を閉会いたします。

どうも、ご苦勞様でした。

(閉会 16時09分)

福島町議会委員会条例第27条の規定により署名する。

総務教育常任委員会委員長